



立雲寺だより



vol 11

令和5/秋

いのちに合掌



日蓮宗
Nichiren Shu

日蓮山



立雲寺

立雲寺公式サイト



九

月十三日、新たに建立した永代供養墓「安穩」とペット供養墓の開眼法要を行いました。ご参列くださった方々ありがとうございました。

永代供養墓「安穩」は、この先お墓や納骨堂を見ていく方がいない単身者の方やご夫婦、その他様々な事情がある方が、亡くなった後もお寺が永代にわたって供養していくものです。公営の合同墓と違いお寺が管理するので、日々のお経があたり、命日や回忌には個別に供養を届けることができます。

ペット供養墓も、家族の一員であったペットに対して供養を捧げ、飼い主が亡き後も取り残されることなくお寺が供養を続けていきます。どちらも年に一回、故人やペットを偲び感謝を伝える合同供養祭を行います。

一つ忘れてはいけないのは、お寺はただ単に「墓地の管理者」や「供養の代行者」ではないという事です。大切なことは、自分自身がお参りを通して故人や先祖に感謝を伝え、自分の心を見つめ直す時間を作ること。仏教ではそれを「修行」と呼びます。自己の至らないところを「修（なお）し、行（すすむ）」ことです。供養するということは亡き人の為であり、自分自身の為でもあるということです。

最近よく「子供に負担をかけたくない」という理由で、お葬式をしない方や墓じまいをする方がいらつしゃいます。実際にそのように考えている方は少なくないと思います。おそらくお葬式のことや今後先祖を供養をしていく費用や時間、そして気持ちの面での「負担」を子供に背負わせるのはかわいそう、という、親が子供を思う気持ちからなのでしょう。

果たしてそれは本当に子供の為なのでしょうか。

親が亡くなり、遺言通りお葬式をしない。お葬式は、故人の為であると同時に、遺族や知人が故人の死に向き合う大切な時間です。実際に立雲寺でも、遺言通りお葬式をしなかつた方が「しっかりと送り出せた気がしない」と改めてお葬式をし直したことがあります。

そしてお墓や納骨堂を閉じることは、子供が親や先祖に手を合わせる場所や機会を無くしてしまします。子供が親になり、次の世代、また次の世代：は親や先祖に手を合わせることでできるでしょうか。

「しっかりと送り出すことができた」という気持ちや「お墓参りで亡き親や祖父母、先祖に会いに行く」という時間が、心の支えになることがあります。

大切なのは、親も子供も後悔

秋号もくじ

- 1 修行をしよう
- 2 行事予定(10~1月)

令和5年
10.12(木)

場所
立雲寺本堂

13:00 ご法話
奈井江 源長寺 井澤 龍学 上人
14:00~ 御会式法要
法要後~ 直会・福引

しないようしっかりと話すことであると思います。

お寺としては、先祖が繋いできたバトンを次の世代に渡すこと、そしてそれを感じられる場所や時間を残してあげることが、家族の形が変わってきた今でも我々がやるべき大切な営みであると考えております。

とはいえ現実には、費用の問題や身体的・物理的にもなかなか供養していくのが難しい方もいらつしゃいます。そんな時はお寺に遠慮なくご相談ください。自分や家族の形に合った供養を一緒に考えましょう。

今年からご法話を再開します。



御会式法要も、近隣の僧侶の皆様もお招きして再開します。



10/12 (木)
13時
お会式

日蓮聖人のご命日偲ぶ

今年より、コロナ禍以前の形に戻すことに致しました。

奈井江の源長寺ご山主、日蓮宗布教師の井澤龍学上人をお招きして、13時からご法話いただきます。

布教師とは、日蓮宗の専門機関で法話を学び、修めた方が任命される役職です。布教師のご法話を聞ける機会でもありますので、ぜひ聞きにいらしてください。

法要後は、直会、恒例の福引きも開催しますので、お気軽にご参加ください。

西 歴 1282 年 10 月 13 日、武蔵国池上（現在の東京都大田区池上）にて 61 歳で入滅されました。

このご命日を偲び報恩を捧げ行われるのが「お会式」です。今年で七四二遠忌をお迎えします。

日蓮聖人は、自身の生涯をかけてお釈迦様の説いた真実の教えである法華経を世に弘めるため尽力されました。

そしてその功德を「南無妙法蓮華経」に込め未来に託されました。

十月〜一月
予行
定事

- 10月 12日 お会式
- 11月 1日 寒水行初め
13日 13日講
- 12月 5日 寒水行納め
17日 大黒祭
- 1月 1日 新年祈祷会
13日 13日講
3日
8日 お守り作り
14日 体験
22日 (13:00-14:30)
27日

除 夜の鐘と共に元旦0時からの水行、本堂にて新年祈祷会を行います。新年がより良い年になるよう祈りを込め「家運隆昌」のお札を授与します。その後、甘酒と御神酒を飲みながら新年をお迎えします。

初詣を兼ねて、旧年中にたまった垢をきれいに洗い流し、神仏やご先祖様に一年間を無事に過ごさせてもらったお礼を込めてご祈祷を受け、新年を清々しい気持ちでスタート致しましょう。

世 界に一つだけのお守りを作る体験。好評につき今年も開催いたします。

今年から、御守り袋の色を干支カラーにしました。今回は「辰年」です。

この体験は、御守りに新年のスタートに自分の目標を込め、それに向かって努力することを誓い、諸天善神に見守っていただくものです。

簡単な写経・目標、名前を書き包みます。僧侶が開眼（魂入れ）と心願成就を祈り心を含めてご祈祷をします。新年限定御首題と記念品を授与します。

要予約。申込は電話・メール・ウェブにて。

1月 新年祈祷会



一家に一枚、「家運隆昌」のお札を授与。



11月 寒水行



35 日間の水行が始まります。この期間に「肌守り」にご祈祷致します。

1月 お守り作り体験



令和6年の辰年をイメージのデザインです。



12月 大黒祭



大黒天の大祭です。銭洗い、大黒天の福を頂けるよう皆様にご祈祷・ご祈願致します。